



公明党 森 しず子 議員

- ①小中学校における教育相談体制の充実について
- ②少人数指導の充実について
- ③子どもの居場所作りについて

質問① いじめに対する取り組みについて、心の教室相談員等の配置と活動状況は。

答弁① 小学校10校、中学校1校に心の教室相談員、小学校2校に子どもと親の相談員を配置している。その活動状況は、心の教室相談員が年間288時間、子どもと親の相談員が年間350時間相談活動に携わっている。今後、こういった教育相談体制をさらに充実させるために、子どもたちの悩みを積極的に受

け止めることができるよう人的配置を県に要望し、市単独でも積極的に取り組みたい。

質問② 少人数指導の現状と今後の取り組みは。

答弁② 県の少人数指導制度に該当しない学年において、学びサポート基礎学力向上事業により市単独で非常勤講師を採用・配置して、少人数指導によるきめ細かな指導の充実を図ってきた。今後も県に人的配置を強く要望し、市費による増員も検討したい。

質問③ 放課後子どもプランの方向性は。

答弁③ 国及び県の情報をもとに関係部局間の調整を進め、具体的な事業及び補助金交付要綱の公表を受けて、このプランにかかわる幅広い関係者で構成される運営委員会を設置し、協力体制の構築を図った上で、実施に向けて検討したい。



市政研究会 森田 治巳 議員

- ①サル農作物等への被害対策について
- ②第二名神道路について

質問① 野ザルによる農作物被害や人的被害についての有効な対策は。

答弁① 「サルを集落に近付けない方策」と「集落に出没したら、直ちにサルを山に追い返す」方法とがあるが、本市の現状では前者は難しく、サルを見たら徹底的に追い払うという事を繰り返し、サル自身が、「ここは来るところではない」という認識を持つまで、追い払い活動を実施することが必要と考える。サルの農作物への被害対策については、重要

な課題の一つであり、地域住民の方と連携を取りながら、行政でできることについて取り組みたい。

質問② 完成は平成30年とのことだが、地域の環境整備等、本市としてのかかわり方は。

答弁② すでに、椿、鈴峰、庄内地区でそれぞれ説明会場を設け、中日本高速道路の関係者、県・市の関係部署の職員が出席し、説明会を開催している。今後は、工事用道路の整備、側道整備、横断構造物の位置などについて、中日本高速道路との管理区分を見極めながら、地元調整を密に行い、三重県などそれぞれの施設管理者に対する要望事項はその実現に向け、強く働きかけ、本市が対応すべき事項については、可能な限り進めたい。



緑風会 市川 哲夫 議員

- ①鈴鹿市の情報化について
- ②乳幼児医療費の助成の件について
- ③スポーツガーデン体育館等の開設に向けて

質問① 本市の情報化の全般的な現状は。また、地域での情報システムの活用や情報化による町づくりについて、どのように考えるのか。

答弁① これまで情報通信インフラの整備を進めてきた。情報システムや電子メールの活用による町づくりについては、まずは「市民情報掲示板」の活用をお願いし、今後の検討課題としたい。

質問② 乳幼児医療費助成対象年齢の現状はどうか。また、今後、対象を拡大していく考えはあるのか。

答弁② 4歳未満の乳幼児の入院・通院及び4歳から義務教育就学前の入院にかかる保険診療分の助成を行っている。対象年齢の引き上げは、今後、さらに協議、検討を重ねたい。

質問③ 建設中の体育館、宿泊施設の概要は。スポーツガーデン東側道路の一般開放の考えはないのか。

答弁③ 体育館は鉄筋コンクリート造、一部鉄骨構造の2階建、供用開始は平成19年4月の予定。宿泊施設は3階建てで、最大収容人員が192名、着工は、平成19年春の予定と伺っている。施設内道路の一般利用は、引き続き三重県と協議、調整を図りたい。



スポーツガーデン体育館